

事業所名

共生ホームこころ

放課後等デイサービス支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念	1. 利用者の尊重：利用者を尊重し、利用者の立場に立った支援をします。 2. 安心した支援：利用者一人ひとりの状況にあった支援をします。 3. 地域社会の支援：地域住民や福祉関係機関との連携及び協力を行う等、より良い地域生活が可能となるよう支援します。				
支援方針	私たちは、福祉のプロとして 1. 常に暖かいこころをもって、笑顔で支援します。2. 常に資質の向上に努め、権利擁護の支援をします。3. 常に地域生活を意識し、穏やかな地域生活が送れるよう支援をします。				
営業時間	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握及び維持・改善を図り、生活習慣や生活リズムの形成を促します。○構造化を意識した居室のレイアウトや掲示をし、基本的な生活スキルの獲得を支援します。			
	運動・感覚	○ストレッチやラジオ体操・軽い運動等により、姿勢と運動及び動作の基本的技能の向上を図ります。○バランスボールの活用による姿勢保持や音楽に合わせて体を動かす遊びや運動を取り入れ、総合的な身体能力の向上を目指します。			
	認知・行動	○天気や気温、日付の把握と確認により、感覚及び数の認知形成。○1日の時間帯別の活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成。○粘土やスライムを活用し、物質の変化と感覚の認知形成。○ブロック遊びによる空間把握の認知形成。○小集団でのゲームへの参加により、適切な行動形成、感覚や認知の偏りに対してのリフレーミングを促します。○季節の変化への興味などの感性形成のための外出行事や施設外での活動への参加を適宜行います。			
	言語コミュニケーション	○個別または小集団での障がいの特性に応じた読み書き支援を行い、コミュニケーションの基礎的能力の向上を図ります。○言語のみならず、障がい特性に応じたコミュニケーション手段を活用し、状況に応じたコミュニケーション能力の獲得を目指します。			
	人間関係社会性	○見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び、また一人遊びや並行遊び、連合的な遊び等、様々な遊びの組み合わせの中で、他者との関わりの形成を図り、遊びを通じた社会性の発達を促します。○ルールの理解が必要な遊びを取り入れ、集団活動の中で、自己の理解と行動の調整を学びます。			
家族支援	○年2回面談を実施し、お子様の発達段階や特性の理解についての情報共有を行います。○家族の方からの相談に対し適宜助言等を行い、障害特性に配慮した家庭環境の整備等に関するアドバイスを行います。	移行支援	○将来に対するの思いをご本人や家族の方から聞き取り、共に考え、将来の移行先や進路についての情報を提供していきます。		
地域支援・地域連携	○学校や医療機関と連携し、合理的配慮に基づいた環境調整や支援方法の共通化を図ります。	職員の質の向上	○法人内研修や事業所内研修、外部研修への定期的な参加の他、学校公開や支援会議等への参加を促し、情報の収集及びアップデートを図っています。		
主な行事等	○土曜日や長期休暇の際には、地域の公園、神社・仏閣、レジャー施設、商業施設、体育館等への外出を行っています。○節分、ひな祭り、夏の時期の水遊び、ハロウィン、クリスマス会、等、季節に応じたイベントを行っています。				